

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 170-8401  
 住 所 東京都豊島区東池袋5-51-12  
 氏 名 株式会社マルエツ  
 代表取締役社長 古瀬 良多 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項（同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社マルエツ		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 幸区新塚越201 ルリエ新川崎		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業、小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の内容	食品スーパーマーケット		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		5,312 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

## (第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	当社の地球温暖化対策の取組みについては、ホームページにて公表しています。 <a href="http://www.maruetso.co.jp/corporate/environment/index.html">http://www.maruetso.co.jp/corporate/environment/index.html</a>

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策計画

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

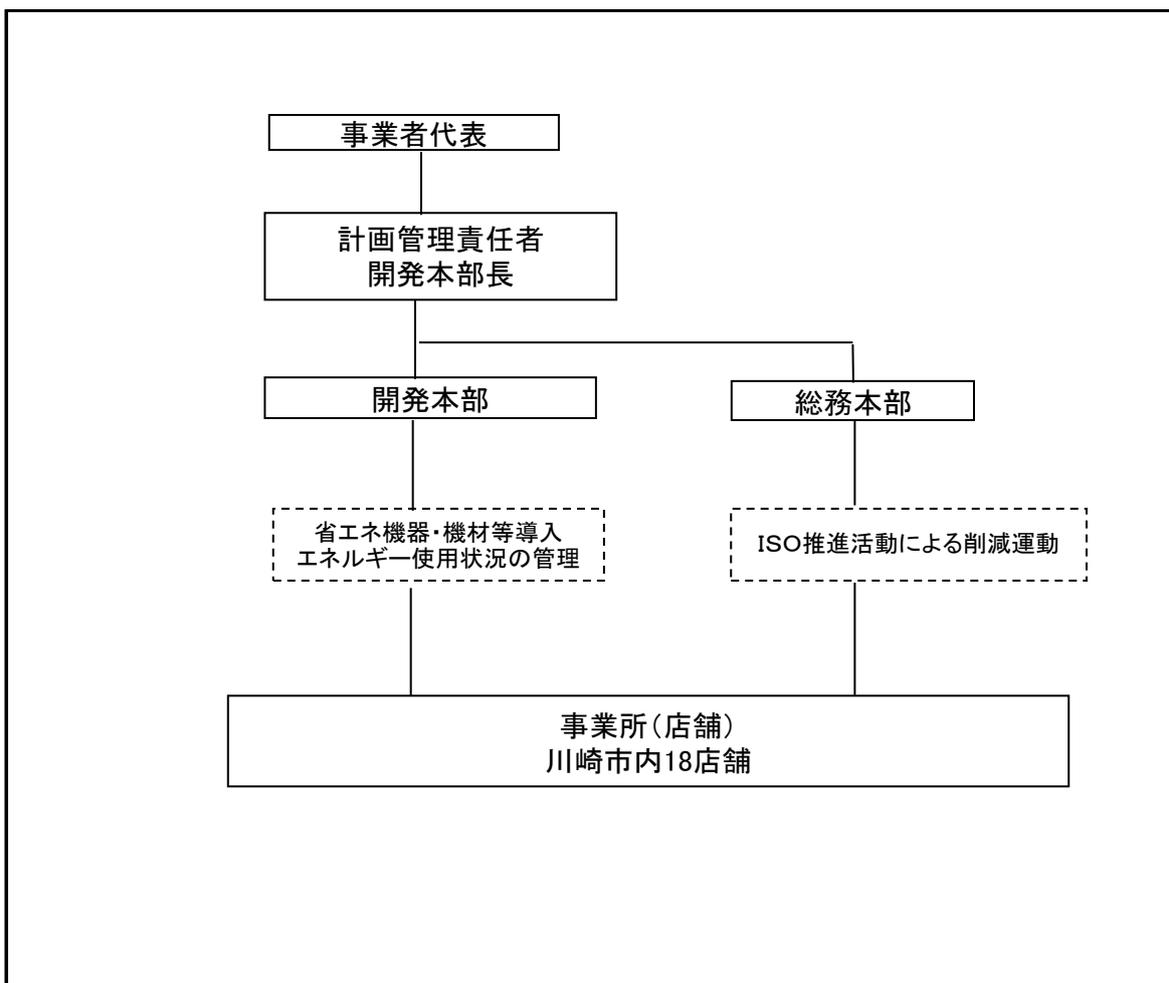
#### (1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

マルエツ環境方針（抜粋）  
 1. 当社の事業活動に伴う環境負荷を最小限にするために、環境目標の設定・推進を含め、環境マネジメントシステムを運用し継続的に改善します。  
 ①電気使用量削減等の省エネルギー・省資源化を推進します。  
 ②最終的な廃棄物を削減するために3Rを推進します。  
 ③地球温暖化防止のため、1店舗当りCO2排出量を削減します。  
 ④環境に配慮した商品の普及に取り組みます。  
 市内の事業所についても、マルエツ環境方針に則り、温室効果ガスの排出量の削減を図ります。

#### (2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

1. ISO14001を取得しており、その進行管理（PDCAサイクル）を活用する。との基本方針のもと、当社のCO2排出量の約8割を占める電気使用量の削減に取り組みます。

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
基準	年度	2021 年度	
目標	年度	2024 年度	
基準	排出量	(実) 9,166 (調) 9,179 t-CO <sub>2</sub>	(実) (調) t-CO <sub>2</sub>
目標	排出量	(実) 9,020 (調) 9,029 t-CO <sub>2</sub>	(実) (調) t-CO <sub>2</sub>
削減量		(実) 146 t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub>
内訳	対策実施による削減量	(実) 137 t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub>
	上記以外の削減量	(実) 9 t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub>
削減率		(実) 1.6 %	(実) %

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
原単位等の活動量		延床面積×営業時間	
原単位の単位		t-CO <sub>2</sub> /1000m <sup>2</sup> h	
基準年度の値		0.03498	
目標年度の値		0.03443	
削減率		1.6 %	%

ウ 目標設定に関する説明

店舗の増減を考慮しつつ、原則、CO <sub>2</sub> の削減を原単位で年0.5%を目標としています。
--

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第 1 から 6 等を参考に記載してください。)

計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制の整備 組織横断的な委員会を設けて目標に向けて活動しています。店舗には、該当部署より省エネなどの啓蒙活動を推進していきます。</li> <li>○外部機関の利用等 ISO14001を取得しており、第三者機関による点検、検査を実施しています。</li> <li>○エネルギー使用量等の把握、計測、記録等の管理 温室効果ガスの排出量と密接な関係を持つ、電気、ガス等の管理および変動について管理、分析をします。</li> <li>○照明設備の保安全管理 売場への導入は完了している為、バックルーム等へLEDを導入します。</li> <li>○空調設備の管理 新設・更新における措置として、ヒートポンプ等高効率の設備を採用します。</li> </ul>
第 1 年度	/
第 2 年度	/
第 3 年度	/
計画期間における取組の評価 (第 3 年度の報告時に記載)	/

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	今後将来的に導入も検討してまいります。
風力	○	今後将来的に導入も検討してまいります。
バイオマス	○	今後将来的に導入も検討してまいります。
未利用エネルギー	○	今後将来的に導入も検討してまいります。
その他 ( )		
その他 ( )		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

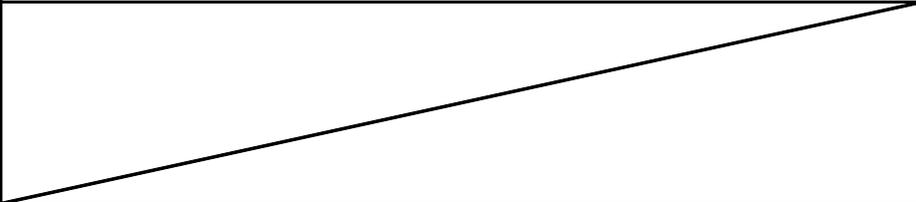
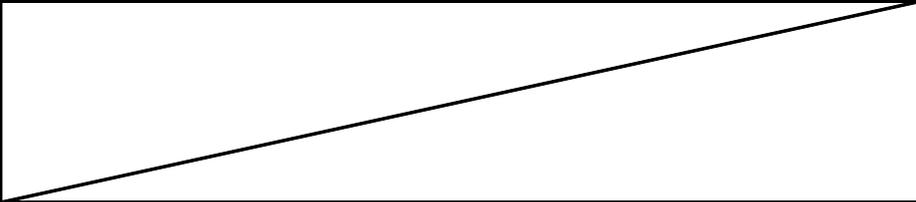
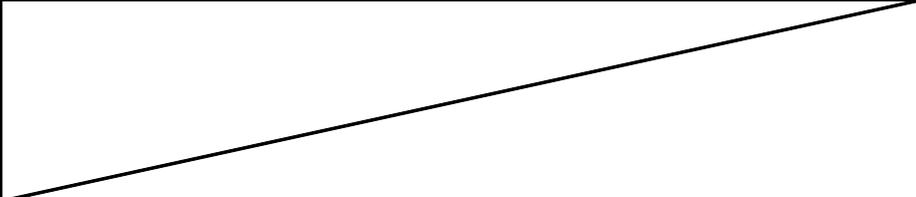
種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
なし		

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

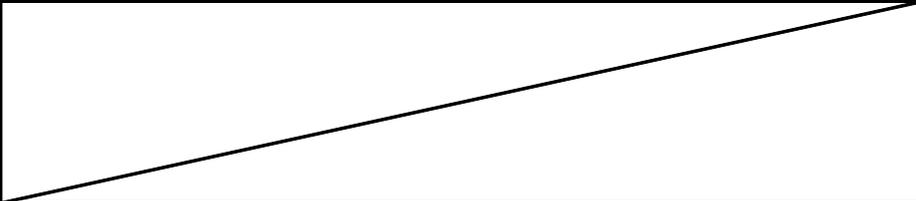
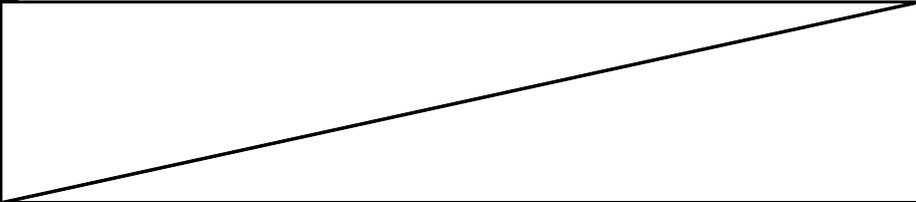
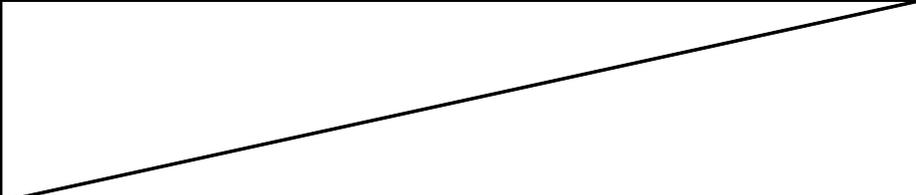
(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ( )	
EV、PHV、FCV	×	その他 ( )	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出量

(実)	9,166	t-CO <sub>2</sub>
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

5,312	KL
-------	----

ウ 事業所の数

17
----

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
		t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
柿生店	川崎市麻生区上麻生5-41-1	938 t-CO <sub>2</sub>
鹿島田店	川崎市幸区新塚越201 ルリエ新川崎	907 t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>